

様式1〔申し合わせ事項〕 【委員会、全協：共通様式】

令和 6年 10月 20日

総務建設常任委員会

委員長 南部 豊 様

東員町議会 議員 水谷 喜和

研修期間	<u>令和6年10月10日（木</u>
研修（視察）先	四日市市役所 危機管理統括部危機管理課
目的（テーマ等）	四日市市災害時井戸登録要綱について
資料添付の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。

様式 1 [申し合わせ事項]:【委員会、全協：共通様式】

[議員氏名： 水谷 喜和]

研修概要、内容、

10月10日午後1時30分～ 四日市市庁舎 危機管理統括部危機管理課
危機管理課長 後藤明彦 危機管理課グループリーダー 中村英樹 主任 小林剛

- ・ 災害時井戸登録件数
平成24年8月に市民が所有する井戸を「災害時協力井戸」として登録し災害時に地域の方々に、井戸水を生活用水として提供していただく制度開始した。
現時点の登録件数 183件
- ・ 締結に際し重要な事項
個人情報への配慮から「所在地のみの公表」としている。
- ・ 協定は行政側から依頼するのでは
管内が井戸の存在状況の把握が出来ていない為、地域に協力依頼している。
- ・ 水質検査は行政負担ですか。
登録時に限り、検査費用（水質検査11項目）を負担している。
- ・ 協力井戸のBCPに民間企業の協力体制はあるか。
基本的に個人所有物であり、個人の管理に委ねている。
- ・ 住民への周知方法は。
市の防災ホームページで、災害時協力井戸一覧（地区、所在地）を載せている。
- ・ 災害時協力井戸登録状況
自噴井戸・・・18 電動ポンプ・・・152 手動ポンプ・・・9
手動・電動ポンプ・・・4

所感+

平成24年度から災害時井戸登録事業への先進地取組み。

井戸登録実績は、上記の通りとなっている。ほとんどが電動ポンプ井戸で、手動ポンプ、自噴井戸登録が少なく災害時に「水」要求に対応できるのか、やゝ不安を感じ得ない。四日市市地域内には、250カ所余りの自噴井戸が存在しており、いなべの谷地域の150カ所余りの自噴井戸と連携・協力しながら「災害時の水確保」に向けた制度の確立を望む。